

研究機関：広島大学

研究課題名	造血器腫瘍に対する同種造血細胞移植前処置としての FBM レジメンの有用性についての研究
研究責任者名	広島原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫
研究期間	2019年3月20日(倫理委員会承認後)～2021年3月31日
対象者	2013年8月から2018年9月の間に、広島大学病院血液内科で、フルダラビン、ブスルファン、メルファランの併用レジメンによる前処置で同種造血幹細胞移植を受けられた患者さん。
意義・目的	同種造血幹細胞移植におけるフルダラビン、ブスルファン、メルファランの併用レジメンによる前処置の効果については、現在臍帯血移植において生着率を高めるということが明らかになっていますが、多数例での報告はまだ十分ではありません。今回、あらゆる年齢、あらゆる幹細胞源における移植成績について報告するため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は移植時年齢、生年月、性、診断日、移植日、移植回数、過去の移植、診断名、移植前PS、移植時病期、移植の種類、ドナー情報(性、関係)、HLA一致度、採取細胞の処理法、前処置、移植細胞数、GVHD 予防法、生着の有無及び生着日、GVHDの有無、二次性悪性腫瘍の有無、移植後の再発の有無、生存状況などです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒 734-8553 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5861 広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫 担当者：広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 診療講師 川瀬 孝和